

7月2日に平成30年度独自目標監査及び令和元年度独自目標設定委員会が開かれました。

平成30年度監査結果

○第1ステージ第2ステップ

独自目標			規格番号(部門)	環境対策をしているか?
番号	内容	達成状況		
D101	温室効果ガス H26-28 平均値	○	1-12 (エコアクション)	環境に配慮して行政運営しているか?
D102	電気使用量 H29 実績値以下	○		
D103	バーマイカーデー 5月~10月間 1人6回	×		
D104	廃棄物排出量 H26-28 平均値	×		
D105	公用車使用燃料 H26-28 平均値	○		
D106	水道使用量 H29 実績値以下	×		
D107	LAS-E 関係職員研修年 2回以上	○	1-23 (エコマネジメント)	
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認	○		
D109	環境ニュース年3回以上発行	○	1-30 (エコガバナンス)	

○第2ステージ第1ステップ

独自目標			第2ステージ第1ステップ	町民・事業者との環境政策を実施しているか?
番号	内容	達成状況		
D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数	×	2-12	
D202	遊水公園清掃参加人数	○		
D203	水辺イベントの開催	○		
D204	1人1日当たりのゴミ排出量 H17年度対比 38.1%減	×		
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催	○		
D206	土幌町環境マネジメントシステム推進本部会議	○		
D207	環境に関する意見交換	○		

令和元年 7 月 2 日

士幌町長
小林 康雄 殿

独 自 目 標 監 査 報 告 書

主任監査員 貝守 良光
副主任監査員 東村 達夫
副主任監査員 小澤 はる奈

1. 監査日時

令和元年 7 月 2 日（火）10:30～11:30

2. 監査対象

士幌町役場

3. LAS-E 監査内容

独自目標（平成 30 年度実績）監査

①第 1 ステージ第 3 ステップ（エコアクション、エコマネジメント、エコガバナンス）

②第 2 ステージ第 1 ステップ

4. 監査結果

（1）第 1 ステージ

番号	内容	目標値	実績値	達成状況 ※
D101	温室効果ガス H26-28 平均値	3,378kWh	3,193Wh	○
D102	電気使用量 H29 実績値以下	2,617MWh	2,570MWh	○
D103	ハ・マイカー・デー 5 月～10 月間 1 人 6 回	100%	96.8%	×
D104	廃棄物排出量 H26-28 平均値	9,494kg	11,505kg	×
D105	公用車使用燃料 H26-28 平均値	28,511ℓ	22,624ℓ	○
D106	水道使用量 H29 実績値以下	45,182 m ³	45,589 m ³	×
D107	LAS-E 関係職員研修年 2 回以上	2 回	2 回	○
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認	月 1 回	月 1 回	○
D109	環境ニュース年 3 回以上発行	3 回	3 回	○

※達成状況 ○=達成 ×=未達成

(2) 第2ステージ

		目標値	実績値	達成状況※
D201	個人住宅用太陽光発電導入 助成件数	10 件以上	4 件	×
D202	遊水公園清掃参加人数	50 人以上	100 人	○
D203	水辺イベントの開催	年 1 回	1 回	○
D204	1 人 1 日当たりのゴミ排出量 H17 年度対比 38.1%減	472g	542g	×
D205	地産地消を促す場づくりの 事業開催	年 1 回	1 回実施(収穫祭)	○
D206	士幌町環境マネジメントシ ステム推進本部会議	年 2 回	2 回	○
D207	環境に関する意見交換	年 1 回	1 回	○

※達成状況 ○=達成 ×=未達成

5. 所見

(1) 第1ステージ

エコアクションに関する項目は、ノー・マイカー・デー実施率と廃棄物排出量、水道使用量を除く項目で目標を達成しました。

温室効果ガス排出量および関連する電気使用量、燃料使用量については、9月に発生した北海道胆振東部地震によるブラックアウトを契機として職員節電意識が高まったこと、例年より冬季の気温が高く暖房需要が少なかったことが主な要因と考えられます。災害は望ましくないことではありますが、これを機に改めてエネルギー機器の使い方を見直すことに繋がれば良いと思います。

廃棄物排出量は前年度に引き続き目標達成に至らず、未達成の要因も同じく不用品の処分をまとめて行ったことでした。廃棄物を大量に出すような整理の計画はできるだけ年度当初に立てて目標に反映するよう、目標設定の重要性を全庁で共有していただきたいと思います。また、モノをため込むことが大量廃棄にも繋がるため、日頃から「必要量以上は持ち込まない、資料や物品はできるだけ共有する」など、「廃棄物発生抑制」の意識を持つことを心掛けてはいかがでしょうか。

(2) 第2ステージ

7項目中5項目で目標を達成できました。

達成できなかった項目は昨年度と同様で、行政の呼びかけだけでは町民の主体的な行動が生まれにくい内容と言えます。特に、引き続き重要な課題である1人1日当たりゴミ排出量については、町民の意識だけでなく、町内の小売店における販売方法やPRも重要な要素になります。効果的な啓発手法と、具体的な減量行動を促すための仕掛けとの両面から、施策の展開を検討していただきたいと思います。

(3) 今後について

事務局の役割として実施されている全庁的なマネジメントの流れは確立していますが、課ごと、施設ごとの目標達成への意識は未だ温度差が大きいと感じます。今後は、数カ月ごとにデータを確認し、目標値・前年実績値との差異がないか、超過の要因は何か、どのような改善策を取りうるか等について施設単位でしっかりと協議し、施設単位・職員個人単位でのマネジメント意識の向上を図っていただくことを望みます。

また、町民への情報発信として「環境ニュース」の発行がありますが、町民にとって関心を惹く内容になっているか再検討が必要です。第2期環境基本計画でもSDGsとの関連が明記され、社会的にも関心が高まっているこの潮流を捉え、SDGsの17ゴールのうち特に士幌町と関連が深いもの、士幌町の取り組みで達成に繋がるものをピックアップして紹介するなど、より町民の生活や仕事に近いテーマに落とし込んで、環境に関する情報を発信してはいかがでしょうか？狭い意味での「環境」ととどまらず、「環境・社会・経済」の3つの視点をバランスよく持った「持続可能な地域づくり」のための情報発信と位置づけ、町の施策への参画を図れるような記事を作成していただくことを期待します。

令和元年度 独自目標

第1ステージ第3ステップ

		目標値
D101	温室効果ガス H29 年度比 -5.59%	3,267 t-CO2
D102	電気使用量 H29 年度比 -5.59 %	2,470 Mwh
D103	ホームページ 5月～10月間 1人6回	100 %
D104	廃棄物排出量 H28-30 平均値以下	9,652 kg
D105	公用車使用燃料 H29 年度比 -5.59%	21,667 リットル
D106	水道使用量 H28-30 平均値以下	43,305 m ³
D107	LAS-E 関係職員研修年 2回以上	全体研修 1 回
		実行責任者・環境 マネージャー研修 1 回
D108	各課 LAS-E 取組内容の確認	月 1 回
D109	環境ニュース年 3回以上発行	3 回以上

第2ステージ第1ステップ

		目標値
D201	個人住宅用太陽光発電導入助成件数 年 10 件以上	— 件
D202	遊水公園清掃参加人数 1回 50 人以上	50 人
D203	水辺イベントの開催 年 1 回以上	1 回
D204	1人1日当たりの可燃・不燃ゴミ排出量 H17 年度対比 39.5%減	461 g
D205	地産地消を促す場づくりの事業開催 年 1 回以上	1 回
D206	土幌町環境マネジメントシステム推進本部会議 年 2 回以上開催	2 回
D207	環境に関する意見交換 年 1 回以上	1 回

第2ステージでは、地域全体が対象となり、町の環境政策を推し進めるため、皆様にも一層のご理解とご協力をお願いいたします。

※土幌町環境マネジメントシステムのホームページを公開しております(<http://www.shihoro.jp/env/>)